



太齋彰浩（一般社団法人サステナビリティセンター代表理事）

〇プロフィール

民間機関の研究者を経て、フィールド密着型の教育を志し、2000年に南三陸へ移住。箱もの施設再生により、年間数千人の交流人口創出。東日本大震災後は、町職員として壊滅した水産業の復興に奔走するとともに「循環型でレジリエントなまちづくり」を目指した、南三陸町バイオマス産業都市構想の実現に貢献。「森里海ひと いのちめぐるまち」を掲げる南三陸町の取り組みを支援し、森里海をフィールドとした人材育成を進めるため2018年4月サステナビリティセンター設立。2024年6月よりは東北大学生命科学研究科客員教授として、NP拠点（ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点）の人材育成に関するターゲットリーダーを担い、地域からネイチャーポジティブな世界の実現を目指す。